議案第 3 2 号

市川市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例の一部改正
について

市川市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
を次のように定める。

平成 2 0 年 1 1 月 2 8 日提出

市川市長 千 葉 光 行

市川市条例第 号

市川市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例の一部を改
正する条例

市川市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例（平成 6 年条例第 2 2
号）の一部を次のように改正する。

第 4 条第 1 項の表市川市中央図書館の項を次のように改める。

市川市中央図書館	図書館法（昭和 2 5 年法律第 1 1 8 号）第 3 条各号に 掲げる事項に関すること。
----------	---

第 4 条第 2 項中「市川市教育センター」の次に「（以下「教育センター」とい
う。）」を加える。

第 6 条の見出しを「（使用することができるもの）」に改め、同条第 1 項中「又
は勤務し、若しくは」を「勤務し、又は」に、「構成されている」を「構成され
る」に改める。

第 7 条第 2 項第 2 号中「映像文化センターの」を「その」に改め、同項第 3
号中「第 1 0 条第 1 項第 5 号」を「第 2 1 条第 1 項第 6 号」に改め、同条第 4

項第4号中「中央こども館の」を「その」に改める。

第8条第1項中「別に」を「市川市使用料条例（平成11年条例第39号）に」に改め、同条第3項中「別に」を「市川市使用料条例に」に改め、同項第4号中「市川市中央図書館」の次に「（以下「中央図書館」という。）」を加える。

第15条中「規則」を「教育委員会規則（中央こども館及び駐車場にあっては、規則）」に改め、同条を第27条とする。

第14条の見出し中「設置」を「設置等」に改め、同条中「市川市中央図書館の」を「中央図書館の」に、「当該図書館」を「中央図書館」に改め、同条に次の3項を加え、同条を第26条とする。

2 市川市中央図書館平田図書室（以下「平田図書室」という。）の開室時間は、午前9時30分から午後5時までとする。ただし、委員会が必要と認めるときは、これを変更することができる。

3 平田図書室の休室日は、次のとおりとする。ただし、委員会が必要と認めるときは、これを変更し、又は臨時に休室日を設けることができる。

(1) 月曜日

(2) 祝日法に規定する休日（その日が月曜日に当たるときは、その翌日）

(3) 毎月末日（その日が前2号に掲げる日、日曜日又は土曜日に当たるときは、その日前においてその日に最も近い前2号に掲げる日、日曜日及び土曜日以外の日）

(4) 1月2日から同月4日まで

(5) 12月28日から同月31日まで

4 第22条の規定は平田図書室における入室の制限等について、前条の規定は平田図書室における損害賠償について、それぞれ準用する。この場合において、第22条中「委員会又は市長」とあるのは「委員会」と、「生涯学習センター」とあるのは「市川市中央図書館平田図書室」と、「入館」とあるのは「入室」と、「退館」とあるのは「退室」と、前条中「生涯学習センター」とあるのは「市川市中央図書館平田図書室」と読み替えるものとする。

第13条中「映像文化センターを使用するもの若しくは中央こども館を使用

するもの又は利用者は、」を削り、「失わせたとき」を「失わせたもの」に改め、同条を第 25 条とする。

第 12 条中「第 10 条第 1 項第 5 号」を「第 21 条第 1 項第 6 号」に改め、同条を第 24 条とする。

第 11 条の見出し中「禁止等」を「制限等」に改め、同条第 1 項中「生涯学習センターを利用する者（以下「利用者」という。）が」を削り、「ときは」の次に「、生涯学習センターを利用する者（第 1 号及び第 2 号において「利用者」という。）に対し」を加え、同項第 1 号中「公の秩序」を「利用者が公の秩序」に改め、同項第 2 号中「施設」を「利用者が生涯学習センターの施設」に改め、同項第 3 号中「施設」を「生涯学習センター」に、「及ぼす」を「生ずる」に改め、同条第 2 項を削り、同条を第 22 条とし、同条の次に次の 1 条を加える。

（駐車の拒否等）

第 23 条 市長は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、駐車場における自動車の駐車を拒否することができる。

- (1) 駐車しようとする自動車に発火性又は引火性を有する物品その他危険な物品が積載されているとき。
- (2) 駐車しようとする自動車が発火性又は引火性を有する物品その他危険な物品が積載されているとき、汚し、又は失わせるおそれがあるとき。
- (3) その他駐車場の管理上支障があるとき。

2 駐車場を使用するものは、第 19 条に規定する駐車場の供用日及び供用時間以外に自動車を駐車してはならない。ただし、市長が適当と認めるものについては、この限りでない。

第 10 条第 1 項第 2 号中「映像文化センターの」を「その」に改め、同項第 3 号中「又は使用の許可に際して付された条件」を削り、同項第 6 号を同項第 7 号とし、同項第 5 号を同項第 6 号とし、同項第 4 号中「規則」を「教育委員会規則」に改め、同号を同項第 5 号とし、同項第 3 号の次に次の 1 号を加える。

- (4) 映像文化センターを使用するものが使用の許可に際して付された条件に違反したとき。

第10条第2項第2号中「中央こども館の」を「その」に改め、同条第3項を削り、同条を第21条とする。

第9条を第20条とし、第8条の次に次の11条を加える。

(館外貸出しを受けることができるもの)

第9条 中央図書館の図書館法第3条第1号に規定する図書館資料(以下「図書館資料」という。)の館外貸出し(以下「館外貸出し」という。)を受けることができるものは、本市に住所を有し、勤務し、又は通学する者及びこれらの者で構成される団体であって読書会等を主催するものとする。ただし、委員会が適当と認めるものは、この限りでない。

(館外貸出しの登録)

第10条 館外貸出しを受けようとするものは、あらかじめ委員会の登録を受けなければならない。ただし、市川市立図書館の設置及び管理に関する条例(平成20年条例第 号)第5条第1項本文の登録を受けているものは、この限りでない。

2 前項本文の登録(以下「登録」という。)の有効期間は、次の各号に掲げるものの区分に応じ、当該各号に定めるとおりとする。

(1) 個人 登録の日から起算して3年

(2) 団体 登録の日からその日の属する年度の末日まで

3 有効期間の満了後、引き続き館外貸出しを受けようとするものは、教育委員会規則で定めるところにより、委員会に登録の更新の申請をしなければならない。

4 前項の登録の更新がされたときは、その登録の有効期間は、次の各号に掲げるものの区分に応じ、当該各号に定めるとおりとする。

(1) 個人 従前の登録の有効期間の満了の日の翌日から起算して3年

(2) 団体 従前の登録の有効期間の満了の日の翌日から起算して1年

(登録の申請等)

第11条 登録を受けようとするものは、教育委員会規則で定めるところにより、委員会に登録の申請をしなければならない。

- 2 委員会は、前項の規定による申請をしたものが第9条に規定するものであるときは、その登録をするものとする。
- 3 委員会は、登録をしたときは、第1項の規定による申請をしたものに対し、図書館利用券を交付するものとする。ただし、その者が市川市住民基本台帳カードの利用に関する条例（平成16年条例第37号）第4条第3項又は第4項の規定により同条例第2条第2項に規定する多目的サービスに係る情報の記録がされた住民基本台帳カード（第14条第1項において「館外貸出対応住基カード」という。）の返還を受ける者であるときは、この限りでない。
- 4 図書館利用券の交付を受けたものは、当該図書館利用券を壊し、汚し、又は失ったときは、教育委員会規則で定めるところにより、委員会に申請して、その再交付を受けることができる。
- 5 図書館利用券は、他に譲渡し、又は転貸してはならない。

（変更の届出）

第12条 登録を受けたものは、前条第1項の規定による申請をした事項に変更があったときは、速やかに、その旨を委員会に届け出なければならない。

（登録の取消し）

第13条 委員会は、登録を受けたものが次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、その登録を取り消すことができる。

- (1) 第9条に規定するものでなくなったとき。
- (2) 不正の手段により登録（第10条第3項の登録の更新を含む。）を受けたとき。

（館外貸出しの承認等）

第14条 館外貸出しを受けようとするものは、図書館利用券（市川市立図書館の設置及び管理に関する条例第6条第3項本文の規定により交付されている図書館利用券を含む。）又は館外貸出対応住基カードを提示して、委員会の承認を受けなければならない。

- 2 委員会は、館外貸出しを受けようとするものが次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、前項の承認をしないことができる。

- (1) 図書館資料を壊し、汚し、又は失わせるおそれがあるとき。
- (2) 次条に規定する期間を経過してもなお館外貸出しを受けた図書館資料を返還しないとき。

(館外貸出しを受けることができる図書館資料等)

第15条 館外貸出しを受けることができる図書館資料及びその数量並びに期間は、次の表のとおりとする。ただし、委員会が必要と認めるときは、これらを変更することができる。

区分	館外貸出しを受け ることができる図書館 資料	館外貸出しを受け ることができる図書館 資料の数量	館外貸出しを受け ることができる期間
個人	図書	無制限	前条第1項の承認を 受けた日から起算し て15日
	コンパクトディスク	3	
	ビデオテープ	2	
	ビデオディスク	1	
団体	図書	無制限	前条第1項の承認を 受けた日から起算し て31日
	コンパクトディスク	3	前条第1項の承認を 受けた日から起算し て15日

(館外貸出しの制限)

第16条 図書館資料のうち貴重図書その他委員会が指定するものは、館外貸出しは行わない。

2 館外貸出しを受けた図書館資料は、他に譲渡し、又は転貸してはならない。

(開館時間)

第17条 生涯学習センターを構成する各施設の開館時間は、次の表の左欄に掲げる施設の区分に応じ、同表の右欄に定めるとおりとする。ただし、委員

会（中央こども館にあっては、市長）が必要と認めるときは、これを変更することができる。

区 分	開 館 時 間
中央図書館及び映像文化センター	午前 10 時から午後 7 時 30 分（日曜日、土曜日及び国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号。以下「祝日法」という。）に規定する休日にあつては、午後 6 時）まで
教育センター	午前 10 時から午後 5 時まで
中央こども館	午前 10 時から午後 6 時（日曜日、土曜日及び祝日法に規定する休日にあつては、午後 5 時）まで

（休館日）

第 18 条 生涯学習センターを構成する各施設の休館日は、次の表の左欄に掲げる施設の区分に応じ、同表の右欄に定めるとおりとする。ただし、委員会（中央こども館にあっては、市長）が必要と認めるときは、これを変更し、又は臨時に休館日を設けることができる。

区 分	休 館 日
中央図書館、映像文化センター及び中央こども館	<p>(1) 月曜日（その日が祝日法に規定する休日にあつたときは、その日後においてその日に最も近い祝日法に規定する休日以外の日）</p> <p>(2) 毎月末日（その日が前号に掲げる日、日曜日、土曜日又は祝日法に規定する休日にあつたときは、その日前においてその日に最も近い前号に掲げる日、日曜日、土曜日及び祝日法に規定する休日以外の日）</p> <p>(3) 1 月 1 日から同月 4 日まで</p> <p>(4) 1 2 月 28 日から同月 31 日まで</p>
教育センター	(1) 月曜日

	<p>(2) 祝日法に規定する休日（その日が月曜日に当たるときは、その翌日）</p> <p>(3) 毎月末日（その日が前2号に掲げる日、日曜日又は土曜日に当たるときは、その日前においてその日に最も近い前2号に掲げる日、日曜日及び土曜日以外の日）</p> <p>(4) 1月2日から同月4日まで</p> <p>(5) 12月28日から同月31日まで</p>
--	---

（駐車場の供用日等）

第19条 駐車場の供用日は、前条の規定により生涯学習センターを構成する各施設のすべてが休館する日以外の日とする。

2 駐車場の供用時間は、午前9時45分から午後7時40分（日曜日、土曜日及び祝日法に規定する休日にあつては、午後6時10分）までとする。

3 前2項の規定にかかわらず、市長が必要と認めるときは、これらに規定する駐車場の供用日又は供用時間を変更することができる。

附 則

（施行期日）

1 この条例は、平成21年4月1日から施行する。

（経過措置）

2 この条例の施行の際現に改正前の市川市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例（次項において「旧条例」という。）に基づく教育委員会規則の規定により図書館利用券の交付を受けているものは、この条例の施行の日において、改正後の第10条第1項本文の登録を受けたものとみなす。この場合において、当該登録の有効期間は、同条第2項の規定にかかわらず、教育委員会が別に定める。

3 この条例の施行の際現に旧条例に基づく教育委員会規則の規定により交付されている図書館利用券は、改正後の第11条第3項本文の規定により交付

された図書館利用券とみなす。

理 由

平成 2 1 年 4 月 1 日から中央図書館、映像文化センター及び中央子ども館の開館時間及び開館日を拡充するほか、所要の改正を行う必要がある。

これが、この条例案を提出する理由である。